

平成19年度三島地域ふるさと創生基金事業の実績について

みしま民話プロジェクト

～創造・独創・未来へつなぐふるさとの昔話～

よさこいソーランみしまプロジェクト

～踊りの和でつなぐ地域交流の祭典～

平成19年度三島地域ふるさと創生基金事業実施報告書(その1)

<p>事業名</p>	<p>みしま民話プロジェクト(継続事業) ～創造・独創・未来へつなぐふるさとの昔話～</p>
<p>事業の 内容</p>	<p>【目的】 三島地域に古くから伝わる民話や伝説等を題材として、一般公募による紙芝居や絵本などのコンテストを実施し、独創性が高く、親しみやすい形の物語を募集する。</p> <p>【内容】</p> <p>1 「みしま民話コンテスト」の実施</p> <p>内容</p> <p>『三島町史』に掲載されている18の民話と伝説の中から応募者がテーマを選択し、そのあらすじに沿いながら、応募者の自由な発想で内容を創作、肉付した紙芝居等の作品を募集するもの。</p> <p>募集期間</p> <p>7月2日から9月28日まで</p> <p>周知の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政だより7月号に作品募集記事を掲載 ・市内の公共施設にパンフレットを配置 ・長岡市ホームページに作品募集記事及びパンフレットを掲載 ・首都圏みしま会会員にパンフレットを送付 ・雑誌『月刊公募ガイド8月号』に広告及び記事を掲載 ・雑誌『月刊公募ガイド9月号』に記事を掲載 <p>募集部門及び募集結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居の部 …… 12作品 ・絵本の部 …… 9作品 ・劇脚本の部 …… 9作品 <p>三島地域を含め、県内外から合計30作品の応募があった。</p> <p>審査会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 = 10月10日 午前9時30分から ・第2回 = 10月11日 午後7時から <p>いずれも、三島支所大会議室で開催。</p> <p>審査員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民話収集家 高橋実さん ・長岡造形大学造形学部教授 福田毅さん ・絵本作家・紙芝居作家 諸橋精光さん ・三島地域ふるさと創生基金事業実行委員会 結城幸作委員長 <p>賞及び受賞者と作品名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 …… 賞状と副賞(賞金20万円)を贈呈 <p>大阪府・江上恵子 / 『チノン坂 キノン坂』(絵本の部)</p>

・優秀賞 …………… 賞状と副賞(賞金5万円)を贈呈

山口県・田中義雄 / 『仁王様の膝つき池』(紙芝居の部)

愛知県・横山勇 / 『おととクロ』(絵本の部)

・優秀賞 …………… 賞状と副賞(賞金3万円)を贈呈

神奈川県・小田島忠彦 / 『泥棒たちの雨宿り』(劇脚本の部)

・ふるさとギフトの贈呈

入賞者を除く応募者全員に、三島の特産品詰め合わせ(3千円相当)を贈呈した。

2 「みしま民話コンテスト」作品展の実施

内容

「みしま民話コンテスト」で寄せられた全作品を展示することにより、地域への愛着と三島を舞台とした民話への興味を深めてもらうことを目的に、作品展を開催した。

展示会場及び期間

・三島支所1階ロビー …………… 12月12日～1月31日(51日間)

・北越銀行三島支店 …………… 1月21日～2月15日(26日間)

・脇野町小学校 …………… 2月18日～2月29日(12日間)

・日吉小学校 …………… 3月3日～3月14日(12日間)

・ながおか市民センター …… 3月19日～3月29日(11日間) 期間は土日祝日・年末年始を算入

3 「みしま民話コンテスト」入賞作品の文章チェック及びデジタル化の実施

内容

「みしま民話コンテスト」に入賞した絵本2作品について、文章のチェック作業のほかアドバイザー業務を委託した。

また、入賞した作品のうち絵本1作品と紙芝居1作品について、電子的に保存及び活用するためデジタル化業務を行った。

業務の内訳

・絵本『チノン坂 キノン坂』及び絵本『おととクロ』の文章チェック

小学校1年生以上が読解できるようなレベルのものにするため、必要な文章の補正とルビ振りの業務及び疑義のある点についてのアドバイザー業務を、他の同種の絵本等を制作するノウハウを持つ専門のライターに委託したものを。

・絵本『チノン坂 キノン坂』及び紙芝居『仁王様の膝つき池』のデジタル化

作品を電子媒体で保存するとともに、様々な場面で作品を応用して活用できるようにするため、専門の会社にスキャニング業務を委託し、作品独自の風合いを損なわない形でデジタル化を行ったもの。

いずれの業務についても、すでに実行委員会及び地域委員会で来年度の継続事業として承認されている製本、DVD化及びホームページ掲載の各事業につなげることができるもの。

<p>事業の実施による効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三島町史」に掲載の民話と伝説は、事実だけを記録的に記したものと断片的に書かれているものが多かったが、これらの民話等をコンテストのテーマとして、応募者の自由な発想で内容を創作する方式のコンテストを行ったことにより、テーマに沿いながらも独創性が高く、かつ、完成度の高い物語としてよみがえらせることができた。 ・平成17年度から実施している本プロジェクトにより、時代の歩みの中で埋もれてしまったとも言える地域の民話を紙芝居や劇脚本の形にしてきたところであるが、今回コンテストを実施したことにより、そのバリエーションを飛躍的に増やすことができた。 ・コンテストには、地域内や市内だけでなく全国各地から作品が寄せられ、また、作品展を市内各所で実施したところ、「本などの形にしたほうがよい」などといった反響の声が聞かれ、地域の内外に三島の歩みや文化、先人たちの営みを伝えることができた。 ・最優秀賞受賞作品『チノン坂 キノン坂』の全編が新潟日報のミニコミ紙に掲載されたり、作品展の様子が新聞やケーブルテレビ、ラジオに取り上げられるなど、行政以外の媒体でも三島地域をPRすることができた。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテストで寄せられた数々の作品を引き続き様々な場面でPRし、多くの住民に活用してもらうことが必要である。 ・コンテストで寄せられた劇脚本を平成17年度に発足した民話劇団に提供するなどして、劇団メンバーの意欲をより高め、活動を活性化させることが必要である。

平成19年度三島地域ふるさと創生基金事業実施報告書(その2)

<p>事業名</p>	<p>よさこいソーランみしまプロジェクト(継続事業) ～踊りの和でつなく地域交流の祭典～</p>																								
<p>事業の 内 容</p>	<p>【目的】</p> <p>よさこいソーランを核とする地域交流イベント「みしまよさこいフェスティバル」を開催する。また、三島地域のよさこいソーランのチームの育成を行い、その活動により地域の活性化と地域間交流につなげていく。</p> <p>【内容】</p> <p>1 「みしまよさこいフェスティバル」の開催</p> <p>内容</p> <p>地域外のチームを招く初のイベント「みしまよさこいフェスティバル」を開催したもの。地元チームである「YOSAKOIみしま」や「おおぞら会」をはじめ、市内の各地域から合計7チームが出演した。</p> <p>開催日</p> <p>8月16日開催の「三島まつり」のイベントとして実施</p> <p>会場</p> <p>長岡市みしま体育館駐車場(三島まつり会場)</p> <p>出演団体</p> <p>三島地域をはじめ、中之島、寺泊、与板、長岡の各地域から7チームが出演。また、フェスティバルのフィナーレには、各チームの総勢215人が参加して総踊りを行い、地域を越えた参加者同士が一体となって会場を盛り上げた。</p> <table border="1" data-bbox="443 1191 1046 1585"> <thead> <tr> <th></th> <th>チーム名</th> <th>地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>YOSAKOIみしま</td> <td>三島地域</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>おおぞら会</td> <td>三島地域</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>結～中越～</td> <td>中之島地域</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ソーラン WAVE 寺泊</td> <td>寺泊地域</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>よさこい真凜</td> <td>寺泊地域</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>踊乱会 YOITA</td> <td>与板地域</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>ながおか楽踊会</td> <td>長岡地域</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 よさこい用旗の制作</p> <p>内容</p> <p>昨年度のふるさと創生基金事業で制作した用品(半天、ズボン、鉢巻、手甲、鳴子)に続き、よさこい用の旗を制作した。</p> <p>デザインについて</p> <p>三島地域らしさを感じさせることをデザインのコンセプトとし、既製のものではなく、オリジナルの図柄を採用。三島地域在住者にデザイン作成を依頼した。</p> <p>活用について</p> <p>完成品は、地元チーム「YOSAKOIみしま」に貸し出しを行い、「みしまよさこいフェスティバル」でお披露目された。</p>		チーム名	地域	1	YOSAKOIみしま	三島地域	2	おおぞら会	三島地域	3	結～中越～	中之島地域	4	ソーラン WAVE 寺泊	寺泊地域	5	よさこい真凜	寺泊地域	6	踊乱会 YOITA	与板地域	7	ながおか楽踊会	長岡地域
	チーム名	地域																							
1	YOSAKOIみしま	三島地域																							
2	おおぞら会	三島地域																							
3	結～中越～	中之島地域																							
4	ソーラン WAVE 寺泊	寺泊地域																							
5	よさこい真凜	寺泊地域																							
6	踊乱会 YOITA	与板地域																							
7	ながおか楽踊会	長岡地域																							

3 よさこいソーランのチームの育成

内容

平成18年度の「みしま産業まつり」でよさこい踊りを披露したグループを任意のチームとしてとして自立させるとともに、その活動についても地域内にとどまらず地域外のイベントにも参加できるよう育成するため、必要な支援を行った。

具体的な支援策

昨年度から実施していた各種踊りのCD等の貸し出し、衣装や旗等の用品の貸し出しに加え、本年度は「よさこい団体講師招へい費用助成金」制度を創設し、よさこいチームが踊りの講師を招へいする際の費用助成を行った。

よさこい団体講師招へい費用助成制度について

- ・制度の概要……住民の主体的な活動により三島地域の活性化を図るため、よさこい団体が踊りの講師を招へいする場合に助成金を交付するもの。
- ・交付対象者……三島地域を拠点に活動を行うよさこい団体で、規約又は会則を有し、原則として5人以上で構成されている団体。
- ・助成金の額……講師招へい1回当たり8,000円を助成金の上限(千円未満切り捨て)とし、5回まで助成を受けることができるもの。

よさこい団体講師招へい費用助成制度の交付実績について

- ・交付対象者……YOSAKOIみしま
- ・助成金の額……15,000円
- ・「YOSAKOIみしま」の講習会開催(講師招へい)実績
中之島地域のよさこいチーム「すいれん」のメンバーを講師として招へいし、2回にわたって「結~中越」の講習を行ったもの。

第1回講習会

開催日:11月21日(水曜日) 会場:みしま会館

参加者:37人 助成金交付対象経費:7,400円 助成金交付額:7,000円

第2回講習会

開催日:11月28日(水曜日) 会場:みしま会館

参加者:40人 助成金交付対象経費:8,000円 助成金交付額:8,000円

事業の実施による効果

- ・地元のよさこいチーム「YOSAKOIみしま」を7月に発足させることができたことに加え、同チームにとって「みしまよさこいフェスティバル」の開催が新たな目標となり、活動がさらに活発に行われた。
- ・「みしまよさこいフェスティバル」においては、三島地域から「YOSAKOIみしま」と「おおぞら会」の2チームが参加。三島まつり実行委員会の反省会においても好評の声が多く、地元の力で地域を代表するイベントを盛り上げることができた。
- ・広域のチームが参加する「みしまよさこいフェスティバル」が縁となって、「YOSAKOIみしま」が地域外のイベントに参加するなど、地域間交流の第一歩とすることができた。
- ・よさこい団体講師招へい費用助成制度により、補助対象者である「YOSAKOIみしま」が新たな踊りを習得するという目標を見出し、活動がさらに活発に行われるようになった。

今後の課題

来年度の三島まつりにおいて「みしまよさこいフェスティバル」の実施を求められることが考えられるが、その際に行政の力を借りずによさこいチームが主体となってイベントを運営していけるように、地元チームがさらに力を付けていく必要がある。

事業の収支決算書

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	内 訳
1 負担金	2,330,000	2,330,000	長岡市三島支所地域振興課から
2 預金利息	540	1,186	
合 計	2,330,540	2,331,186	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	内 訳
1 報償費	935,000	678,222	(1) 実行委員会関係 51,000 ・委員会出席謝金 (@3,000円 × 延べ17人)
			(2) みしま民話プロジェクト関係 472,222 ・民話コンテスト審査員謝金 (@20,000円 × 3人 × 2回) ・民話コンテスト賞金 (最優秀賞@200,000円 × 1人) ・民話コンテスト賞金 (優秀賞@50,000円 × 2人) ・民話コンテスト賞金 (優秀賞@30,000円 × 1人)
			(3) よさこいソーランみしまプロジェクト関係 155,000 ・よさこい旗デザイン謝金 (一式: 50,000) ・フェスティバル参加団体謝金 (@15,000円 × 7団体)
2 需用費	466,700	558,830	(1) 実行委員会関係 7,749 ・事務用消耗品費 (一式) ・会議お茶代 (@105円 × 延べ33人)
			(2) みしま民話プロジェクト関係 507,284 ・民話コンテスト等消耗品費 (一式) ・民話コンテストギフト代 (@3,000 × 24個) ・民話コンテストポスター印刷代 (一式: 79,800) ・民話コンテストパンフレット印刷代 (一式: 198,450) ・民話コンテスト賞状印刷代 (一式: 21,000) ・民話コンテスト作品展に係る印刷代 (一式)
			(3) よさこいソーランみしまプロジェクト関係 43,797 ・よさこいフェスティバル等消耗品費 (一式) ・よさこいフェスティバル飲み物代 (一式: 30,000)
3 役務費	468,840	444,386	(1) 実行委員会関係 2,156 ・振込手数料 (一式) ・郵送料・配送料 (一式)
			(2) みしま民話プロジェクト関係 425,970 ・民話コンテスト雑誌広告版下制作代 (一式: 15,750) ・民話コンテスト雑誌広告掲載代 (一式: 262,500) ・民話コンテスト作品展パネル制作代 (一式: 105,000) ・振込手数料 (一式) ・郵送料・配送料 (一式)
			(3) よさこいソーランみしまプロジェクト関係 16,260 ・よさこいフェスティバル舞台装飾加工手数料 (一式: 3,150) ・レクリエーション保険料 (一式: 9,450) ・振込手数料 (一式) ・郵送料・配送料 (一式)
4 委託料	0	449,400	(1) みしま民話プロジェクト関係 239,400 ・民話コンテスト入賞作品デジタル化等委託料 (一式: 239,400)
			(2) みしま民話プロジェクト関係 210,000 ・よさこいフェスティバル音響操作等業務委託料 (一式: 210,000)
5 使用料及び賃借料	200,000	0	
6 備品購入費	180,000	181,450	よさこいソーランみしまプロジェクト関係 181,450 ・よさこい旗制作代等 (一式: 181,450)
7 負担金、補助及び交付金	80,000	15,000	よさこいソーランみしまプロジェクト関係 15,000 ・よさこい等講習会講師招へい助成 (一式: 15,000)
合 計	2,330,540	2,327,288	

収入 2,331,186円 - 支出 2,327,288円 = 3,898円 (返還額)